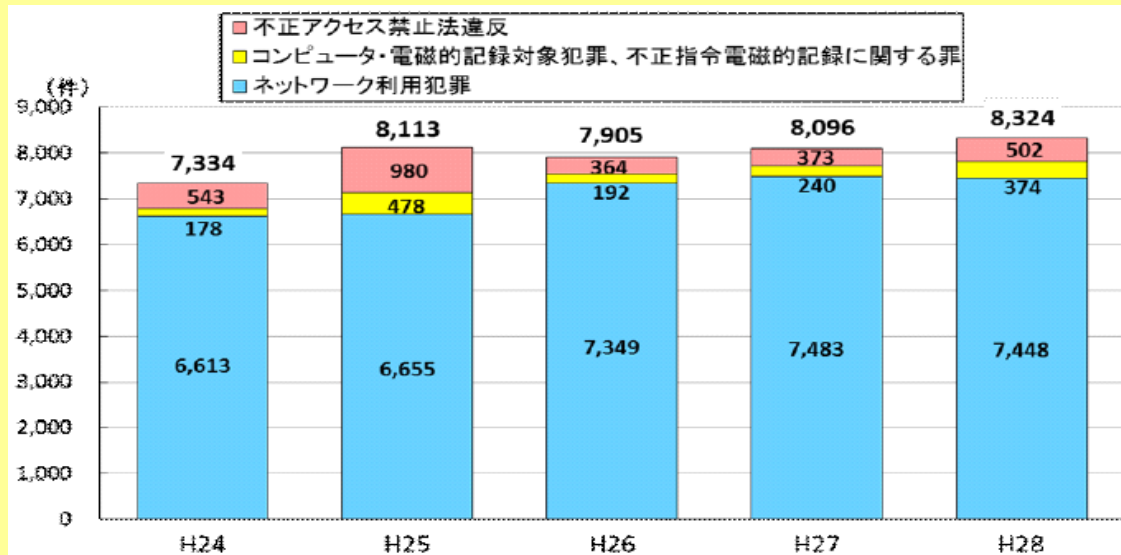




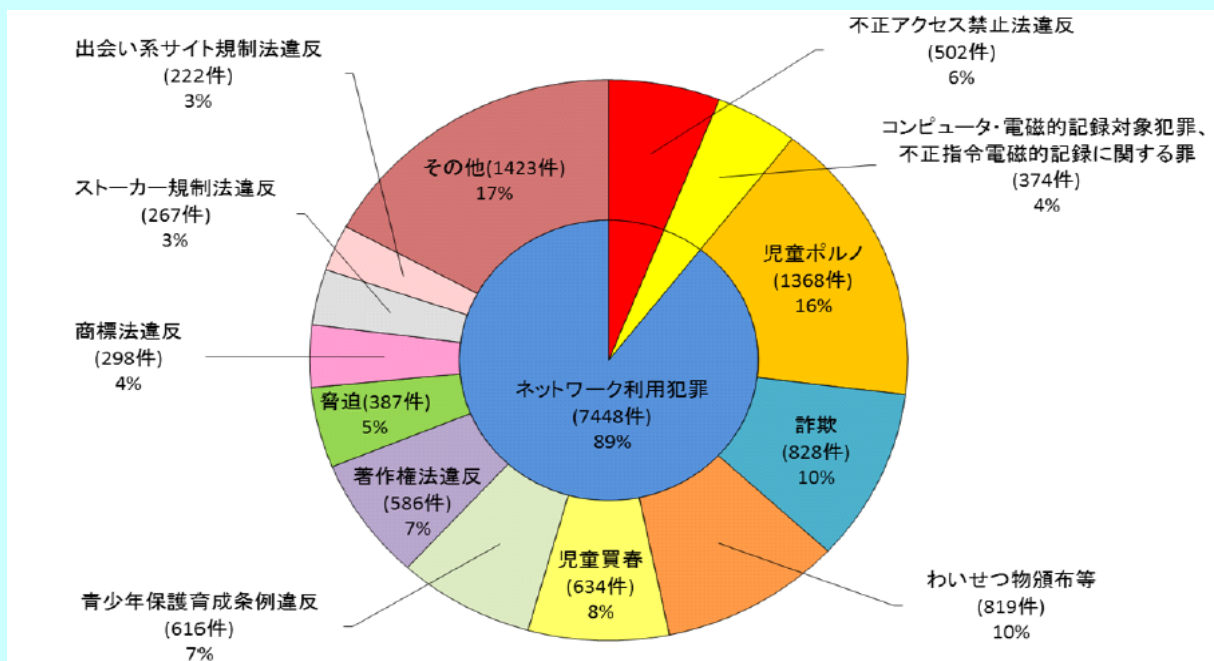
平成28年サイバー空間をめぐる脅威の情勢

サイバー犯罪の検挙件数の推移（全国）

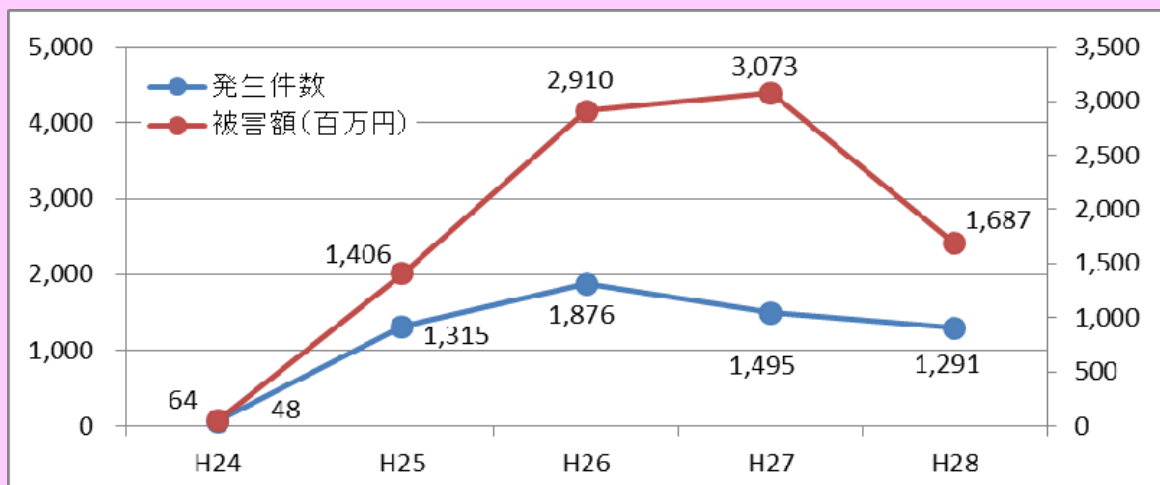


サイバー犯罪の検挙件数は8,324件で、27年より228件増加した。
また、相談件数は13万1,518件で、27年より3,421件増加し、検挙件数、相談件数ともに過去最多となった。

ネットワーク利用犯罪の検挙状況の内訳（全国）

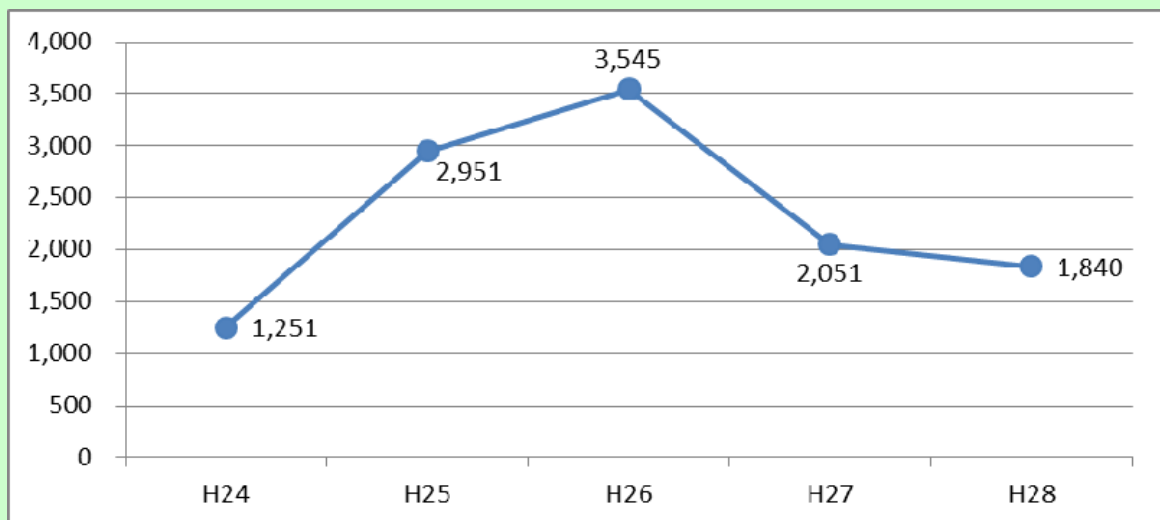


インターネットバンキングに係る不正送金事犯（全国）



インターネットバンキングに係る不正送金事犯による被害は、発生件数1,291件、被害額約16億8,700万円で、27年と比較して、発生件数は204件、被害額は約13億8,600万円下回った。減少の要因としては、大口の法人口座被害の減少等が挙げられる。

不正アクセス認知件数（全国）



28年中の不正アクセス行為の認知件数は1,840件となり、27年に続き減少した。減少の要因は、インターネットバンキングに係る不正送金事犯が減少したこと等が挙げられる。

詳細は、警察庁ホームページをご確認ください。

http://www.npa.go.jp/news/release/2017/20170323cyber_jousei.html